32-16工区　鉄筋挿入工+法枠工

数 量 総 括 表

32-16工区

レベル１	レベル２(工種)	レベル３(種別)	レベル４(細別)	レベル５(規格)	単位	数量	設計数量	備考
16工区								
	道路土工							
		掘削工						
			掘削工	土砂 小規模 小規模(標準以外)	m3	22.2	20	
		ｾｰﾌﾃｨｸﾗｲﾏｰ工法						
			ｱﾝｶｰ設置・撤去工	立木アンカー	箇所	4.0	4	
			ｱﾝｶｰ確認試験工		箇所	4.0	4	
			斜面整形工	土砂系（レキ質土・粘性土，岩塊・玉石）	m2	354.0	350	
			ｳｨﾝﾁ設置・撤去工	重量物置換ｱﾝｶｰ	箇所	1	1	
		残土処理工						
			土砂等運搬	土砂	m3	22.2	20	
			残土等処分	土砂	m3	22.2	20	
	法面工							
		法枠工						
			ラス張	250m2以上500m2未満 法面清掃有(補正無)	m2	354.0	354	
			吹付枠工	□300-1500×1500	m	466.7	467	
			水切モルタル	σck=18N/mm2	m3	7.9	8	
			植生基材吹付	3cm	m2	161.2	161	
		鉄筋挿入工						
			鉄筋挿入	D19,L=2.0m	本	39	39	
				D19,L=2.5m	本	45	45	
				D19,L=3.0m	本	30	30	
				D19,L=3.5m	本	77	77	
		運搬費	現場内小運搬工		回	1	1	ｾｰﾌﾃｨｸﾗｲﾏｰ工法
			運搬費		回	1	1	ｾｰﾌﾃｨｸﾗｲﾏｰ工法

数量計算書(1)

種　　別：　準備工

細別／規格	算　　式	数　　量
掘削工 土砂	・土工図より V ＝　1.61　×　13.8　＝	22.2　m3
残土処理工 土砂	・掘削工数量より V ＝　22.20	22.2　m3
ｱﾝｶｰ設置・撤去工 （ｾｰﾌﾃｨｰｸﾗｲﾏｰ工法） 立木アンカー	・土工図より N ＝　4.00	4.0　箇所
ｱﾝｶｰ確認試験工 （ｾｰﾌﾃｨｰｸﾗｲﾏｰ工法）	・土工図より N ＝　4.00	4.0　箇所
斜面整形工 （ｾｰﾌﾃｨｰｸﾗｲﾏｰ工法） 土砂系	・土工図より S ＝　353.99	354.0　m2
ｳｨﾝﾁ設置・撤去工 （ｾｰﾌﾃｨｰｸﾗｲﾏｰ工法） 重量物置換ｱﾝｶｰ	・土工図より N ＝　1.00	1.0　箇所

数量計算書(2)

種　　別： 法面工

細別／規格	算　　式	数　　量
吹付枠長 □300-1500×1500	・法面工　数量計算書より L = 466.70	466.7 m
水切工 モルタル σck=18N/mm2	・法面工　数量計算書より V = 7.92	7.9 m3
吹付工 植生基材吹付 t=3cm	・法面工　数量計算書より A = 161.19	161.2 m2
鉄筋挿入工 D19,L=2.0m D19,L=2.5m D19,L=3.0m D19,L=3.5m	・鉄筋挿入工　数量計算書より N = 13 + 13 + 13 ＝ N = 13 + 16 + 16 ＝ N = 14 + 16 ＝ N = 15 + 15 + 15 + 16 + 16 ＝ ΣN ＝	 39 本 45 本 30 本 77 本 191 本
削孔 削孔径φ65 砂質土 削孔径φ65 礫質土	・鉄筋挿入工　数量計算書より L = 14.6 + 14.9 + 10.8 + 3.2 + 5.9 + 8.2 + 9.5 + 12.1 ＝ L = 20.8 + 20.8 + 20.8 + 27.3 + 19.0 + 18.7 + 36.4 + 30.8 + 43.3 + 40.6 + 38.3 + 40.1 + 37.5 ＝	 79.2 m 394.4 m
グラウト注入 セメントミルク σck=24N/mm2	・鉄筋挿入工　数量計算書より V = 0.10 + 0.10 + 0.10 + 0.13 + 0.16 + 0.16 + 0.17 + 0.19 + 0.22 + 0.22 + 0.22 + 0.23 + 0.23 ＝	 2.23 m3
間詰めモルタル モルタル σck=18N/mm2	・鉄筋挿入工　数量計算書より V ＝ 0.02 + 0.02 + 0.02 + 0.02 + 0.02 + 0.02 + 0.02 + 0.02 + 0.02 + 0.02 + 0.02 + 0.02 + 0.02 =	 0.26 m3

吹付法枠工　延長計算表

□300-1500×1500

横枠				縦枠				外枠				摘要
枠種	番号		延長	枠種	番号		延長	枠種	番号		延長	
横枠	x	1	16.1	縦枠	Y	1	18.0					
	x	2	16.4		Y	2	18.0					
	x	3	17.0		Y	3	18.0					
	x	4	17.5		Y	4	18.0					
	x	5	18.0		Y	5	11.3					
	x	6	18.5		Y	6	18.1					
	x	7	19.1		Y	7	14.1					
	x	8	19.6		Y	8	18.0					
	x	9	20.1		Y	9	18.0					
	x	10	20.6		Y	10	18.0					
	x	11	21.2		Y	11	18.0					
	x	12	21.7		Y	12	18.0					
	x	13	22.2		Y	13	16.5					
					Y	14	18.0					
					Y	15	18.0					
					Y	16	18.0					
横枠小計			248.0	縦枠小計			276.0	外枠小計			0.0	
合計											524.0	

法面工 数量計算書

種別	規格	計算式等			単位	数量	摘要
吹付法枠工	設置面積	図面より			m2	353.99	ラス張工
	□300-1500×1500	法枠長合計	控除格数	法枠幅	m	466.70	
		524.0	191	0.3			
	法枠工占有面積	0.3×延長			m2	140.01	
水切工	設置延長	横法枠長合計	控除格数	法枠幅	m	195.50	最上段控除
		248.0	175	0.3			
	水切工占有面積	0.27×延長			m2	52.79	
	モルタルσck=18N/mm2	0.0405×延長			m3	7.92	1/2×0.27×0.3=0.0405
	吹付法枠工1m当たり	7.92m3/466.7m			m3	0.02	
吹付工	植生基材吹付3cm	設置面積-法枠工占有面積-水切工占有面積			m2	161.19	

鉄筋挿入工 数量計算書

種　　別：鉄筋挿入工(X1)
細　　別：鉄筋挿入
規　　格：SD345、D19、L=2.0m/本

施工本数(SD345、D19、L=2.0m/本)
※　法面展開図より　N=13本

補強材長	本数（本）	延長（m）
L= 2.0m/本	13	26.0

削孔(削孔径φ65mm)
※ クレーン使用

１本当り平均削孔土質 (m)		施工本数 (本)	削孔長計 (m)
砂質・粘性土			
礫質土	1.600	13	20.8

※　1本当りの削孔長 = 2.0（補強材長） − (0.3m（吹付枠厚） + 0.1m（余長）) = 1.6m

間詰めモルタル（モルタル σck=18N/mm2）

補強材長	1本当りの延長 (m)	1本当りの注入量 (m^3)	本 数 (本)	注入量計 (m^3)
L= 2.0m/本	0.300	0.0014	13	0.02

※注入量　V = 1/4 × π × 0.065^2（削孔径） × 0.3（延長） × (1＋0.4)（※割増率） = 0.0014 m3

※上記の割増率は「令和7年国土交通省土木工事標準積算基準書」Ⅵ-2-⑭-5を参考として計上した。

グラウト注入（セメントミルク σck=24N/mm^2）

補強材長	1本当りの削孔長 (m)	1本当りの注入量 (m^3)	本 数 (本)	注入量計 (m^3)
L= 2.0m/本	1.600	0.0074	13	0.10

※　注入量　V = 1/4 × π × 0.065^2（削孔径） × 1.6（削孔長） × (1＋0.4)（※割増率） = 0.0074 m3

※　上記の割増率は「令和7年国土交通省土木工事標準積算基準書」Ⅵ-2-⑭-5を参考として計上した。

補強材1本当りの材料

区　分	名　称	規　格	単位	数量 L=2.0m	摘　要
補強材	ネジ節異形棒鋼	D19(SD345) L=2.0m	m	2.0	亜鉛メッキ仕上 JIS-H8641-2種 HDZ55
	支圧板	PL-150×150×9 (SS400)	枚	1	亜鉛メッキ仕上 JIS-H8641-2種 HDZ55
	定着ナット	D19	個	1	
	ネジ付ワッシャー	φ74.5mm t=25mm	個	1	
	スペーサー	D19用、L=127mm (SK85)	個	2	取付間隔@2.5m以下 1本当り2ヶ以上使用 電気ﾒｯｷ品

鉄筋挿入工 数量計算書

種　　別：鉄筋挿入工(X2)
細　　別：鉄筋挿入
規　　格：SD345、D19、L=2.0m/本

施工本数(SD345、D19、L=2.0m/本)
※　法面展開図より　N=13本

補強材長	本数（本）	延長（m）
L= 2.0m/本	13	26.0

削孔(削孔径φ65mm)
※ クレーン使用

１本当り平均削孔土質 (m)		施工本数 (本)	削孔長計 (m)
砂質・粘性土			
礫質土	1.600	13	20.8

※　1本当りの削孔長 = 2.0 (補強材長) − (0.3m (吹付枠厚) + 0.1m (余長)) = 1.6m

間詰めモルタル（モルタル σck=18N/mm2）

補強材長	1本当りの延長 (m)	1本当りの注入量 (m^3)	本 数 (本)	注入量計 (m^3)
L= 2.0m/本	0.300	0.0014	13	0.02

※注入量　$V = 1/4 \times \pi \times \underset{\text{削孔径}}{0.065^2} \times \underset{\text{延長}}{0.3} \times \underset{\text{※割増率}}{(1+0.4)} = 0.0014$ m3

※上記の割増率は「令和7年国土交通省土木工事標準積算基準書」Ⅵ-2-⑭-5を参考として計上した。

グラウト注入（セメントミルク σck=24N/mm^2）

補強材長	1本当りの削孔長 (m)	1本当りの注入量 (m^3)	本 数 (本)	注入量計 (m^3)
L= 2.0m/本	1.600	0.0074	13	0.10

※　注入量　$V = 1/4 \times \pi \times \underset{\text{削孔径}}{0.065^2} \times \underset{\text{削孔長}}{1.6} \times \underset{\text{※割増率}}{(1+0.4)} = 0.0074$ m3

※　上記の割増率は「令和7年国土交通省土木工事標準積算基準書」Ⅵ-2-⑭-5を参考として計上した。

補強材1本当りの材料

区　分	名　称	規　格	単位	数量 L=2.0m	摘　要
補強材	ネジ節異形棒鋼	D19(SD345) L=2.0m	m	2.0	亜鉛メッキ仕上 JIS-H8641-2種 HDZ55
	支圧板	PL-150×150×9 (SS400)	枚	1	亜鉛メッキ仕上 JIS-H8641-2種 HDZ55
	定着ナット	D19	個	1	
	ネジ付ワッシャー	φ74.5mm t=25mm	個	1	
	スペーサー	D19用、L=127mm (SK85)	個	2	取付間隔@2.5m以下 1本当り2ヶ以上使用 電気ﾒｯｷ品

鉄筋挿入工 数量計算書

種　　別：鉄筋挿入工(X3)
細　　別：鉄筋挿入
規　　格：SD345、D19、L=2.0m/本

施工本数(SD345、D19、L=2.0m/本)
※　法面展開図より　N=13本

補強材長	本数（本）	延長（m）
L= 2.0m/本	13	26.0

削孔(削孔径φ65mm)
※ クレーン使用

1本当り平均削孔土質 (m)		施工本数 (本)	削孔長計 (m)
砂質・粘性土			
礫質土	1.600	13	20.8

※　1本当りの削孔長 = 2.0（補強材長） − (0.3m（吹付枠厚） + 0.1m（余長）) = 1.6m

間詰めモルタル（モルタル σck=18N/mm2）

補強材長	1本当りの延長 (m)	1本当りの注入量 (m^3)	本 数 (本)	注入量計 (m^3)
L= 2.0m/本	0.300	0.0014	13	0.02

※注入量　V = 1/4 × π × 0.065^2（削孔径） × 0.3（延長） × (1＋0.4)（※割増率） = 0.0014 m3

※上記の割増率は「令和7年国土交通省土木工事標準積算基準書」Ⅵ-2-⑭-5を参考として計上した。

グラウト注入（セメントミルク σck=24N/mm^2）

補強材長	1本当りの削孔長 (m)	1本当りの注入量 (m^3)	本 数 (本)	注入量計 (m^3)
L= 2.0m/本	1.600	0.0074	13	0.10

※　注入量　V = 1/4 × π × 0.065^2（削孔径） × 1.6（削孔長） × (1＋0.4)（※割増率） = 0.0074 m3

※　上記の割増率は「令和7年国土交通省土木工事標準積算基準書」Ⅵ-2-⑭-5を参考として計上した。

補強材1本当りの材料

区　分	名　称	規　格	単位	数量 L=2.0m	摘　要
補強材	ネジ節異形棒鋼	D19(SD345) L=2.0m	m	2.0	亜鉛メッキ仕上 JIS-H8641-2種 HDZ55
	支圧板	PL-150×150×9 (SS400)	枚	1	亜鉛メッキ仕上 JIS-H8641-2種 HDZ55
	定着ナット	D19	個	1	
	ネジ付ワッシャー	φ74.5mm t=25mm	個	1	
	スペーサー	D19用、L=127mm (SK85)	個	2	取付間隔@2.5m以下 1本当り2ヶ以上使用 電気ﾒｯｷ品

鉄筋挿入工 数量計算書

種　　別：鉄筋挿入工(X4)
細　　別：鉄筋挿入
規　　格：SD345、D19、L=2.5m/本

施工本数(SD345、D19、L=2.5m/本)
※　法面展開図より　N=13本

補強材長	本数（本）	延長（m）
L= 2.5m/本	13	32.5

削孔(削孔径φ65mm)
※ クレーン使用

1本当り平均削孔土質 (m)		施工本数 (本)	削孔長計 (m)
砂質・粘性土			
礫質土	2.100	13	27.3

※　1本当りの削孔長 = 2.5 − (0.3m + 0.1m) = 2.1m
（2.5：補強材長　0.3m：吹付枠厚　0.1m：余長）

間詰めモルタル（モルタル σck=18N/mm2）

補強材長	1本当りの延長 (m)	1本当りの注入量 (m^3)	本 数 (本)	注入量計 (m^3)
L= 2.5m/本	0.300	0.0014	13	0.02

※注入量　$V = 1/4 \times \pi \times \underline{0.065^2}_{\text{削孔径}} \times \underline{0.3}_{\text{延長}} \times \underline{(1+0.4)}_{\text{※割増率}} = 0.0014$ m3

※上記の割増率は「令和7年国土交通省土木工事標準積算基準書」Ⅵ-2-⑭-5を参考として計上した。

グラウト注入（セメントミルク σck=24N/mm^2）

補強材長	1本当りの削孔長 (m)	1本当りの注入量 (m^3)	本 数 (本)	注入量計 (m^3)
L= 2.5m/本	2.100	0.0098	13	0.13

※　注入量　$V = 1/4 \times \pi \times \underline{0.065^2}_{\text{削孔径}} \times \underline{2.1}_{\text{削孔長}} \times \underline{(1+0.4)}_{\text{※割増率}} = 0.0098$ m3

※　上記の割増率は「令和7年国土交通省土木工事標準積算基準書」Ⅵ-2-⑭-5を参考として計上した。

補強材1本当りの材料

区　分	名　称	規　格	単位	数量 L=2.5m	摘　要
補強材	ネジ節異形棒鋼	D19(SD345) L=2.5m	m	2.5	亜鉛メッキ仕上 JIS-H8641-2種 HDZ55
	支圧板	PL-150×150×9 (SS400)	枚	1	亜鉛メッキ仕上 JIS-H8641-2種 HDZ55
	定着ナット	D19	個	1	
	ネジ付ワッシャー	φ74.5mm t=25mm	個	1	
	スペーサー	D19用、L=127mm (SK85)	個	2	取付間隔@2.5m以下 1本当り2ヶ以上使用 電気ﾒｯｷ品

鉄筋挿入工 数量計算書

種　　別：鉄筋挿入工(X12)
細　　別：鉄筋挿入
規　　格：SD345、D19、L=2.5m/本

施工本数(SD345、D19、L=2.5m/本)
※　法面展開図より　N=16本

補強材長	本数（本）	延長（m）
L= 2.5m/本	16	40.0

削孔(削孔径φ65mm)
※ クレーン使用

１本当り平均削孔土質 (m)		施工本数 (本)	削孔長計 (m)
砂質・粘性土	0.912	16	14.6
礫質土	1.188	16	19.0

※　1本当りの削孔長 = 2.5（補強材長） − (0.3m（吹付枠厚） ＋ 0.1m（余長）) = 2.1m

間詰めモルタル（モルタル σck=18N/mm2）

補強材長	1本当りの延長 (m)	1本当りの注入量 (m^3)	本 数 (本)	注入量計 (m^3)
L= 2.5m/本	0.300	0.0014	16	0.02

※注入量　V = 1/4 × π × 0.065^2（削孔径） × 0.3（延長） × (1＋0.4)（※割増率） = 0.0014 m3

※上記の割増率は「令和7年国土交通省土木工事標準積算基準書」Ⅵ-2-⑭-5を参考として計上した。

グラウト注入（セメントミルク σck=24N/mm^2）

補強材長	1本当りの削孔長 (m)	1本当りの注入量 (m^3)	本 数 (本)	注入量計 (m^3)
L= 2.5m/本	2.100	0.0098	16	0.16

※　注入量　V = 1/4 × π × 0.065^2（削孔径） × 2.1（削孔長） × (1＋0.4)（※割増率） = 0.0098 m3

※　上記の割増率は「令和7年国土交通省土木工事標準積算基準書」Ⅵ-2-⑭-5を参考として計上した。

補強材1本当りの材料

区　分	名　称	規　格	単位	数量 L=2.5m	摘　要
補強材	ネジ節異形棒鋼	D19(SD345) L=2.5m	m	2.5	亜鉛メッキ仕上 JIS-H8641-2種 HDZ55
	支圧板	PL-150×150×9 (SS400)	枚	1	亜鉛メッキ仕上 JIS-H8641-2種 HDZ55
	定着ナット	D19	個	1	
	ネジ付ワッシャー	φ74.5mm t=25mm	個	1	
	スペーサー	D19用、L=127mm (SK85)	個	2	取付間隔@2.5m以下 1本当り2ヶ以上使用 電気ﾒｯｷ品

鉄筋挿入工 数量計算書

種　　別：鉄筋挿入工(X13)
細　　別：鉄筋挿入
規　　格：SD345、D19、L=2.5m/本

施工本数(SD345、D19、L=2.5m/本)
※　法面展開図より　N=16本

補強材長	本数（本）	延長（m）
L= 2.5m/本	16	40.0

削孔(削孔径φ65mm)
※ クレーン使用

１本当り平均削孔土質 (m)		施工本数 (本)	削孔長計 (m)
砂質・粘性土	0.934	16	14.9
礫質土	1.166	16	18.7

※　1本当りの削孔長 = 2.5（補強材長） − (0.3m（吹付枠厚） ＋ 0.1m（余長）) = 2.1m

間詰めモルタル（モルタル σck=18N/mm2）

補強材長	1本当りの延長 (m)	1本当りの注入量 (m^3)	本 数 (本)	注入量計 (m^3)
L= 2.5m/本	0.300	0.0014	16	0.02

※注入量　V = 1/4 × π × 0.065^2（削孔径） × 0.3（延長） × (1＋0.4)（※割増率） = 0.0014 m3

※上記の割増率は「令和7年国土交通省土木工事標準積算基準書」Ⅵ-2-⑭-5を参考として計上した。

グラウト注入（セメントミルク σck=24N/mm^2）

補強材長	1本当りの削孔長 (m)	1本当りの注入量 (m^3)	本 数 (本)	注入量計 (m^3)
L= 2.5m/本	2.100	0.0098	16	0.16

※　注入量　V = 1/4 × π × 0.065^2（削孔径） × 2.1（削孔長） × (1＋0.4)（※割増率） = 0.0098 m3

※　上記の割増率は「令和7年国土交通省土木工事標準積算基準書」Ⅵ-2-⑭-5を参考として計上した。

補強材1本当りの材料

区　分	名　称	規　格	単位	数量 L=2.5m	摘　要
補強材	ネジ節異形棒鋼	D19(SD345) L=2.5m	m	2.5	亜鉛メッキ仕上 JIS-H8641-2種 HDZ55
	支圧板	PL-150×150×9 (SS400)	枚	1	亜鉛メッキ仕上 JIS-H8641-2種 HDZ55
	定着ナット	D19	個	1	
	ネジ付ワッシャー	φ74.5mm t=25mm	個	1	
	スペーサー	D19用、L=127mm (SK85)	個	2	取付間隔@2.5m以下 1本当り2ヶ以上使用 電気ﾒｯｷ品

鉄筋挿入工 数量計算書

種　　別：鉄筋挿入工(X5)
細　　別：鉄筋挿入
規　　格：SD345、D19、L=3.0m/本

施工本数(SD345、D19、L=3.0m/本)
※　法面展開図より　N=14本

補強材長	本数（本）	延長（m）
L= 3.0m/本	14	42.0

削孔(削孔径φ65mm)
※ クレーン使用

１本当り平均削孔土質 (m)		施工本数 (本)	削孔長計 (m)
砂質・粘性土			
礫質土	2.600	14	36.4

※　1本当りの削孔長 = 3.0（補強材長） － (0.3m（吹付枠厚） ＋ 0.1m（余長）) = 2.6m

間詰めモルタル（モルタル σck=18N/mm2）

補強材長	1本当りの延長 (m)	1本当りの注入量 (m^3)	本 数 (本)	注入量計 (m^3)
L= 3.0m/本	0.300	0.0014	14	0.02

※注入量　V = 1/4 × π × 0.065^2（削孔径） × 0.3（延長） × (1＋0.4)（※割増率） = 0.0014 m3

※上記の割増率は「令和7年国土交通省土木工事標準積算基準書」Ⅵ-2-⑭-5を参考として計上した。

グラウト注入（セメントミルク σck=24N/mm^2）

補強材長	1本当りの削孔長 (m)	1本当りの注入量 (m^3)	本 数 (本)	注入量計 (m^3)
L= 3.0m/本	2.600	0.0121	14	0.17

※　注入量　V = 1/4 × π × 0.065^2（削孔径） × 2.6（削孔長） × (1＋0.4)（※割増率） = 0.0121 m3

※　上記の割増率は「令和7年国土交通省土木工事標準積算基準書」Ⅵ-2-⑭-5を参考として計上した。

補強材1本当りの材料

区　分	名　称	規　格	単位	数量 L=3.0m	摘　要
補強材	ネジ節異形棒鋼	D19(SD345) L=3.0m	m	3.0	亜鉛メッキ仕上 JIS-H8641-2種 HDZ55
	支圧板	PL-150×150×9 (SS400)	枚	1	亜鉛メッキ仕上 JIS-H8641-2種 HDZ55
	定着ナット	D19	個	1	
	ネジ付ワッシャー	φ74.5mm t=25mm	個	1	
	スペーサー	D19用、L=127mm (SK85)	個	2	取付間隔@2.5m以下 1本当り2ヶ以上使用 電気ﾒｯｷ品

鉄筋挿入工 数量計算書

種　　別：鉄筋挿入工(X11)
細　　別：鉄筋挿入
規　　格：SD345、D19、L=3.0m/本

施工本数(SD345、D19、L=3.0m/本)
※　法面展開図より　N=16本

補強材長	本数（本）	延長（m）
L= 3.0m/本	16	48.0

削孔(削孔径φ65mm)
※ クレーン使用

１本当り平均削孔土質 (m)		施工本数 (本)	削孔長計 (m)
砂質・粘性土	0.677	16	10.8
礫質土	1.923	16	30.8

※　1本当りの削孔長 = 3.0（補強材長） − (0.3m（吹付枠厚） ＋ 0.1m（余長）) = 2.6m

間詰めモルタル（モルタル σck=18N/mm2）

補強材長	1本当りの延長 (m)	1本当りの注入量 (m^3)	本 数 (本)	注入量計 (m^3)
L= 3.0m/本	0.300	0.0014	16	0.02

※注入量　V = 1/4 × π × 0.065^2（削孔径） × 0.3（延長） × (1＋0.4)（※割増率） = 0.0014 m3

※上記の割増率は「令和7年国土交通省土木工事標準積算基準書」Ⅵ-2-⑭-5を参考として計上した。

グラウト注入（セメントミルク σck=24N/mm^2）

補強材長	1本当りの削孔長 (m)	1本当りの注入量 (m^3)	本 数 (本)	注入量計 (m^3)
L= 3.0m/本	2.600	0.0121	16	0.19

※　注入量　V = 1/4 × π × 0.065^2（削孔径） × 2.6（削孔長） × (1＋0.4)（※割増率） = 0.0121 m3

※　上記の割増率は「令和7年国土交通省土木工事標準積算基準書」Ⅵ-2-⑭-5を参考として計上した。

補強材1本当りの材料

区　分	名　称	規　格	単位	数量 L=3.0m	摘　要
補強材	ネジ節異形棒鋼	D19(SD345) L=3.0m	m	3.0	亜鉛メッキ仕上 JIS-H8641-2種 HDZ55
	支圧板	PL-150×150×9 (SS400)	枚	1	亜鉛メッキ仕上 JIS-H8641-2種 HDZ55
	定着ナット	D19	個	1	
	ネジ付ワッシャー	φ74.5mm t=25mm	個	1	
	スペーサー	D19用、L=127mm (SK85)	個	2	取付間隔@2.5m以下 1本当り2ヶ以上使用 電気ﾒｯｷ品

鉄筋挿入工 数量計算書

種　　別：鉄筋挿入工(X6)
細　　別：鉄筋挿入
規　　格：SD345、D19、L=3.5m/本

施工本数(SD345、D19、L=3.5m/本)
※　法面展開図より　N=15本

補強材長	本数（本）	延長（m）
L= 3.5m/本	15	52.5

削孔(削孔径φ65mm)
※ クレーン使用

１本当り平均削孔土質 (m)		施工本数 (本)	削孔長計 (m)
砂質・粘性土	0.212	15	3.2
礫質土	2.888	15	43.3

※　1本当りの削孔長 = 3.5（補強材長） − (0.3m（吹付枠厚） ＋ 0.1m（余長）) = 3.1m

間詰めモルタル（モルタル σck=18N/mm2）

補強材長	1本当りの延長 (m)	1本当りの注入量 (m^3)	本 数 (本)	注入量計 (m^3)
L= 3.5m/本	0.300	0.0014	15	0.02

※注入量　$V = 1/4 \times \pi \times \frac{0.065^2}{\text{削孔径}} \times \frac{0.3}{\text{延長}} \times \frac{(1+0.4)}{\text{※割増率}} = 0.0014\ m3$

※上記の割増率は「令和7年国土交通省土木工事標準積算基準書」Ⅵ-2-⑭-5を参考として計上した。

グラウト注入（セメントミルク σck=24N/mm^2）

補強材長	1本当りの削孔長 (m)	1本当りの注入量 (m^3)	本 数 (本)	注入量計 (m^3)
L= 3.5m/本	3.100	0.0144	15	0.22

※　注入量　$V = 1/4 \times \pi \times \frac{0.065^2}{\text{削孔径}} \times \frac{3.1}{\text{削孔長}} \times \frac{(1+0.4)}{\text{※割増率}} = 0.0144\ m3$

※　上記の割増率は「令和7年国土交通省土木工事標準積算基準書」Ⅵ-2-⑭-5を参考として計上した。

補強材1本当りの材料

区　分	名　称	規　格	単位	数量 L=3.5m	摘　要
補強材	ネジ節異形棒鋼	D19(SD345) L=3.5m	m	3.5	亜鉛メッキ仕上 JIS-H8641-2種 HDZ55
	支圧板	PL-150×150×9 (SS400)	枚	1	亜鉛メッキ仕上 JIS-H8641-2種 HDZ55
	定着ナット	D19	個	1	
	ネジ付ワッシャー	φ74.5mm t=25mm	個	1	
	スペーサー	D19用、L=127mm (SK85)	個	3	取付間隔@2.5m以下 1本当り2ヶ以上使用 電気ﾒｯｷ品

鉄筋挿入工 数量計算書

種　　別：鉄筋挿入工(X7)
細　　別：鉄筋挿入
規　　格：SD345、D19、L=3.5m/本

施工本数(SD345、D19、L=3.5m/本)
※　法面展開図より　N=15本

補強材長	本数（本）	延長（m）
L= 3.5m/本	15	52.5

削孔(削孔径φ65mm)
※ クレーン使用

１本当り平均削孔土質 (m)		施工本数 (本)	削孔長計 (m)
砂質・粘性土	0.393	15	5.9
礫質土	2.707	15	40.6

※　1本当りの削孔長 = 3.5（補強材長） − (0.3m（吹付枠厚） ＋ 0.1m（余長）) = 3.1m

間詰めモルタル（モルタル σck=18N/mm2）

補強材長	1本当りの延長 (m)	1本当りの注入量 (m^3)	本 数 (本)	注入量計 (m^3)
L= 3.5m/本	0.300	0.0014	15	0.02

※注入量　V = 1/4 × π × 0.065^2（削孔径） × 0.3（延長） × (1＋0.4)（※割増率） = 0.0014 m3

※上記の割増率は「令和7年国土交通省土木工事標準積算基準書」Ⅵ-2-⑭-5を参考として計上した。

グラウト注入（セメントミルク σck=24N/mm^2）

補強材長	1本当りの削孔長 (m)	1本当りの注入量 (m^3)	本 数 (本)	注入量計 (m^3)
L= 3.5m/本	3.100	0.0144	15	0.22

※　注入量　V = 1/4 × π × 0.065^2（削孔径） × 3.1（削孔長） × (1＋0.4)（※割増率） = 0.0144 m3

※　上記の割増率は「令和7年国土交通省土木工事標準積算基準書」Ⅵ-2-⑭-5を参考として計上した。

補強材1本当りの材料

区　分	名　称	規　格	単位	数量 L=3.5m	摘　要
補強材	ネジ節異形棒鋼	D19(SD345) L=3.5m	m	3.5	亜鉛メッキ仕上 JIS-H8641-2種 HDZ55
	支圧板	PL-150×150×9 (SS400)	枚	1	亜鉛メッキ仕上 JIS-H8641-2種 HDZ55
	定着ナット	D19	個	1	
	ネジ付ワッシャー	φ74.5mm t=25mm	個	1	
	スペーサー	D19用、L=127mm (SK85)	個	3	取付間隔@2.5m以下 1本当り2ヶ以上使用 電気ﾒｯｷ品

鉄筋挿入工 数量計算書

種　　別：鉄筋挿入工(X8)
細　　別：鉄筋挿入
規　　格：SD345、D19、L=3.5m/本

施工本数(SD345、D19、L=3.5m/本)
※　法面展開図より　N=15本

補強材長	本数（本）	延長（m）
L= 3.5m/本	15	52.5

削孔(削孔径φ65mm)
※ クレーン使用

１本当り平均削孔土質 (m)		施工本数 (本)	削孔長計 (m)
砂質・粘性土	0.544	15	8.2
礫質土	2.556	15	38.3

※　1本当りの削孔長 = 3.5（補強材長） − (0.3m（吹付枠厚） ＋ 0.1m（余長）) = 3.1m

間詰めモルタル（モルタル σck=18N/mm2）

補強材長	1本当りの延長 (m)	1本当りの注入量 (m^3)	本 数 (本)	注入量計 (m^3)
L= 3.5m/本	0.300	0.0014	15	0.02

※注入量　V = 1/4 × π × 0.065^2（削孔径） × 0.3（延長） × (1＋0.4)（※割増率） = 0.0014 m3

※上記の割増率は「令和7年国土交通省土木工事標準積算基準書」Ⅵ-2-⑭-5を参考として計上した。

グラウト注入（セメントミルク σck=24N/mm^2）

補強材長	1本当りの削孔長 (m)	1本当りの注入量 (m^3)	本 数 (本)	注入量計 (m^3)
L= 3.5m/本	3.100	0.0144	15	0.22

※　注入量　V = 1/4 × π × 0.065^2（削孔径） × 3.1（削孔長） × (1＋0.4)（※割増率） = 0.0144 m3

※　上記の割増率は「令和7年国土交通省土木工事標準積算基準書」Ⅵ-2-⑭-5を参考として計上した。

補強材1本当りの材料

区　分	名　称	規　格	単位	数量 L=3.5m	摘　要
補強材	ネジ節異形棒鋼	D19(SD345) L=3.5m	m	3.5	亜鉛メッキ仕上 JIS-H8641-2種 HDZ55
	支圧板	PL-150×150×9 (SS400)	枚	1	亜鉛メッキ仕上 JIS-H8641-2種 HDZ55
	定着ナット	D19	個	1	
	ネジ付ワッシャー	φ74.5mm t=25mm	個	1	
	スペーサー	D19用、L=127mm (SK85)	個	3	取付間隔@2.5m以下 1本当り2ヶ以上使用 電気ﾒｯｷ品

鉄筋挿入工 数量計算書

種　　別：鉄筋挿入工(X9)
細　　別：鉄筋挿入
規　　格：SD345、D19、L=3.5m/本

施工本数(SD345、D19、L=3.5m/本)
※　法面展開図より　N=16本

補強材長	本数（本）	延長（m）
L= 3.5m/本	16	56.0

削孔(削孔径φ65mm)
※ クレーン使用

１本当り平均削孔土質 (m)		施工本数 (本)	削孔長計 (m)
砂質・粘性土	0.591	16	9.5
礫質土	2.509	16	40.1

※　1本当りの削孔長 = 3.5（補強材長） − (0.3m（吹付枠厚） ＋ 0.1m（余長）) = 3.1m

間詰めモルタル（モルタル σck=18N/mm2）

補強材長	1本当りの延長 (m)	1本当りの注入量 (m^3)	本 数 (本)	注入量計 (m^3)
L= 3.5m/本	0.300	0.0014	16	0.02

※注入量　V = 1/4 × π × 0.065^2（削孔径） × 0.3（延長） × (1＋0.4)（※割増率） = 0.0014 m3

※上記の割増率は「令和7年国土交通省土木工事標準積算基準書」Ⅵ-2-⑭-5を参考として計上した。

グラウト注入（セメントミルク σck=24N/mm^2）

補強材長	1本当りの削孔長 (m)	1本当りの注入量 (m^3)	本 数 (本)	注入量計 (m^3)
L= 3.5m/本	3.100	0.0144	16	0.23

※　注入量　V = 1/4 × π × 0.065^2（削孔径） × 3.1（削孔長） × (1＋0.4)（※割増率） = 0.0144 m3

※　上記の割増率は「令和7年国土交通省土木工事標準積算基準書」Ⅵ-2-⑭-5を参考として計上した。

補強材1本当りの材料

区　分	名　称	規　格	単位	数量 L=3.5m	摘　要
補強材	ネジ節異形棒鋼	D19(SD345) L=3.5m	m	3.5	亜鉛メッキ仕上 JIS-H8641-2種 HDZ55
	支圧板	PL-150×150×9 (SS400)	枚	1	亜鉛メッキ仕上 JIS-H8641-2種 HDZ55
	定着ナット	D19	個	1	
	ネジ付ワッシャー	φ74.5mm t=25mm	個	1	
	スペーサー	D19用、L=127mm (SK85)	個	3	取付間隔@2.5m以下 1本当り2ヶ以上使用 電気ﾒｯｷ品

鉄筋挿入工 数量計算書

種　　別：鉄筋挿入工(X10)
細　　別：鉄筋挿入
規　　格：SD345、D19、L=3.5m/本

施工本数(SD345、D19、L=3.5m/本)
※　法面展開図より　N=16本

補強材長	本数（本）	延長（m）
L= 3.5m/本	16	56.0

削孔(削孔径φ65mm)
※ クレーン使用

1本当り平均削孔土質 (m)		施工本数 (本)	削孔長計 (m)
砂質・粘性土	0.758	16	12.1
礫質土	2.342	16	37.5

※　1本当りの削孔長 = 3.5（補強材長） − (0.3m（吹付枠厚） ＋ 0.1m)（余長） = 3.1m

間詰めモルタル（モルタル σck=18N/mm2）

補強材長	1本当りの延長 (m)	1本当りの注入量 (m^3)	本 数 (本)	注入量計 (m^3)
L= 3.5m/本	0.300	0.0014	16	0.02

※注入量　$V = 1/4 \times \pi \times \underset{\text{削孔径}}{0.065^2} \times \underset{\text{延長}}{0.3} \times \underset{\text{※割増率}}{(1+0.4)} = 0.0014$ m3

※上記の割増率は「令和7年国土交通省土木工事標準積算基準書」Ⅵ-2-⑭-5を参考として計上した。

グラウト注入（セメントミルク σck=24N/mm^2）

補強材長	1本当りの削孔長 (m)	1本当りの注入量 (m^3)	本 数 (本)	注入量計 (m^3)
L= 3.5m/本	3.100	0.0144	16	0.23

※　注入量　$V = 1/4 \times \pi \times \underset{\text{削孔径}}{0.065^2} \times \underset{\text{削孔長}}{3.1} \times \underset{\text{※割増率}}{(1+0.4)} = 0.0144$ m3

※　上記の割増率は「令和7年国土交通省土木工事標準積算基準書」Ⅵ-2-⑭-5を参考として計上した。

補強材1本当りの材料

区　分	名　称	規　格	単位	数量 L=3.5m	摘　要
補強材	ネジ節異形棒鋼	D19(SD345) L=3.5m	m	3.5	亜鉛メッキ仕上 JIS-H8641-2種 HDZ55
	支圧板	PL-150×150×9 (SS400)	枚	1	亜鉛メッキ仕上 JIS-H8641-2種 HDZ55
	定着ナット	D19	個	1	
	ネジ付ワッシャー	φ74.5mm t=25mm	個	1	
	スペーサー	D19用、L=127mm (SK85)	個	3	取付間隔@2.5m以下 1本当り2ヶ以上使用 電気ﾒｯｷ品

土工図(参考)

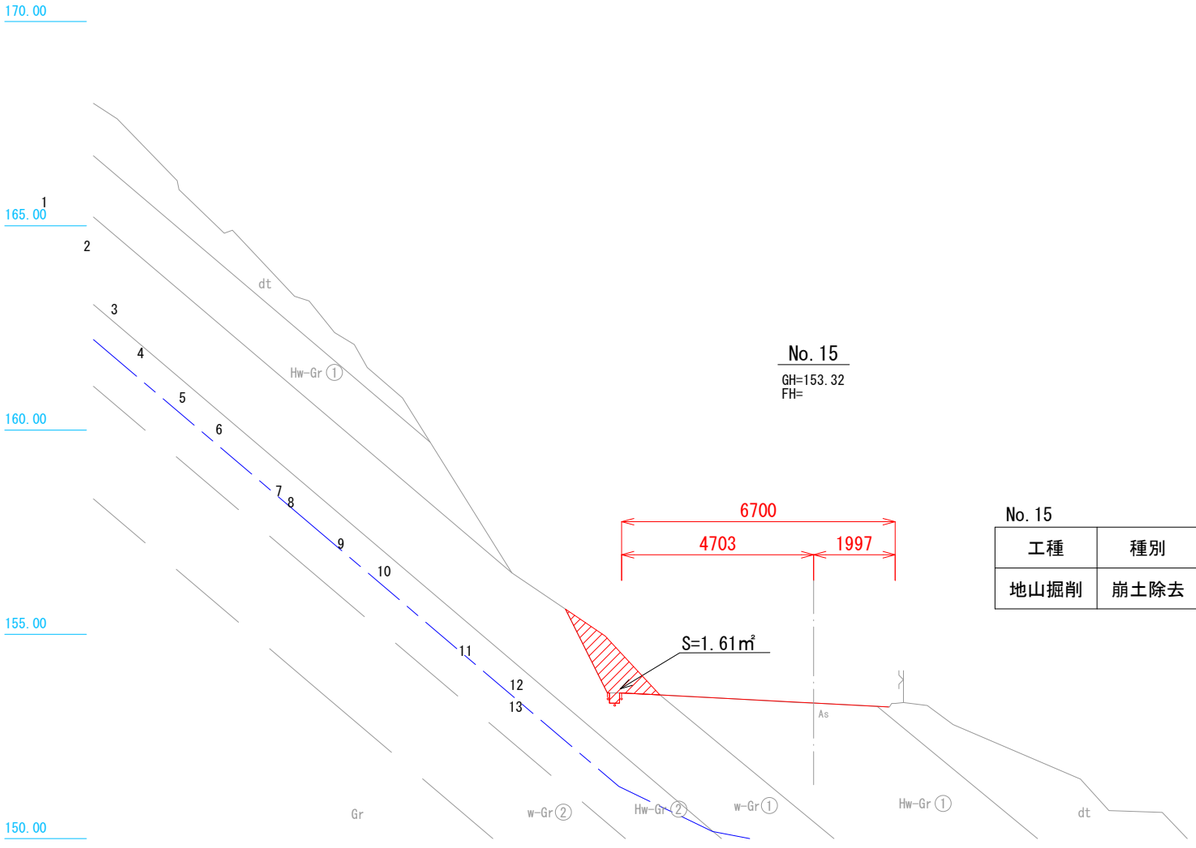
32-16工区

A1 S=1:100
A3 S=1:200

設計用地盤定数

地質区分名	地層記号	岩級区分	代表N値	単位体積重量 γ (kN/m3)	粘着力 C (kN/m2)	せん断抵抗角 φ(°)
崩積土 砂質土	dt	-	3	15.99	1.25	35.00
強風化花崗岩	Hw-Gr①	DL～DM	22	17.05	4.45	35.00
風化花崗岩	w-Gr①	DH	85	22.53	64.98	39.14
強風化花崗岩	Hw-Gr②	DM	45	19.68	52.78	37.73
弱風化花崗岩	w-Gr②	CL	160	22.03	79.91	37.73
花崗岩	Gr	CM	300	23.66	98.14	41.93

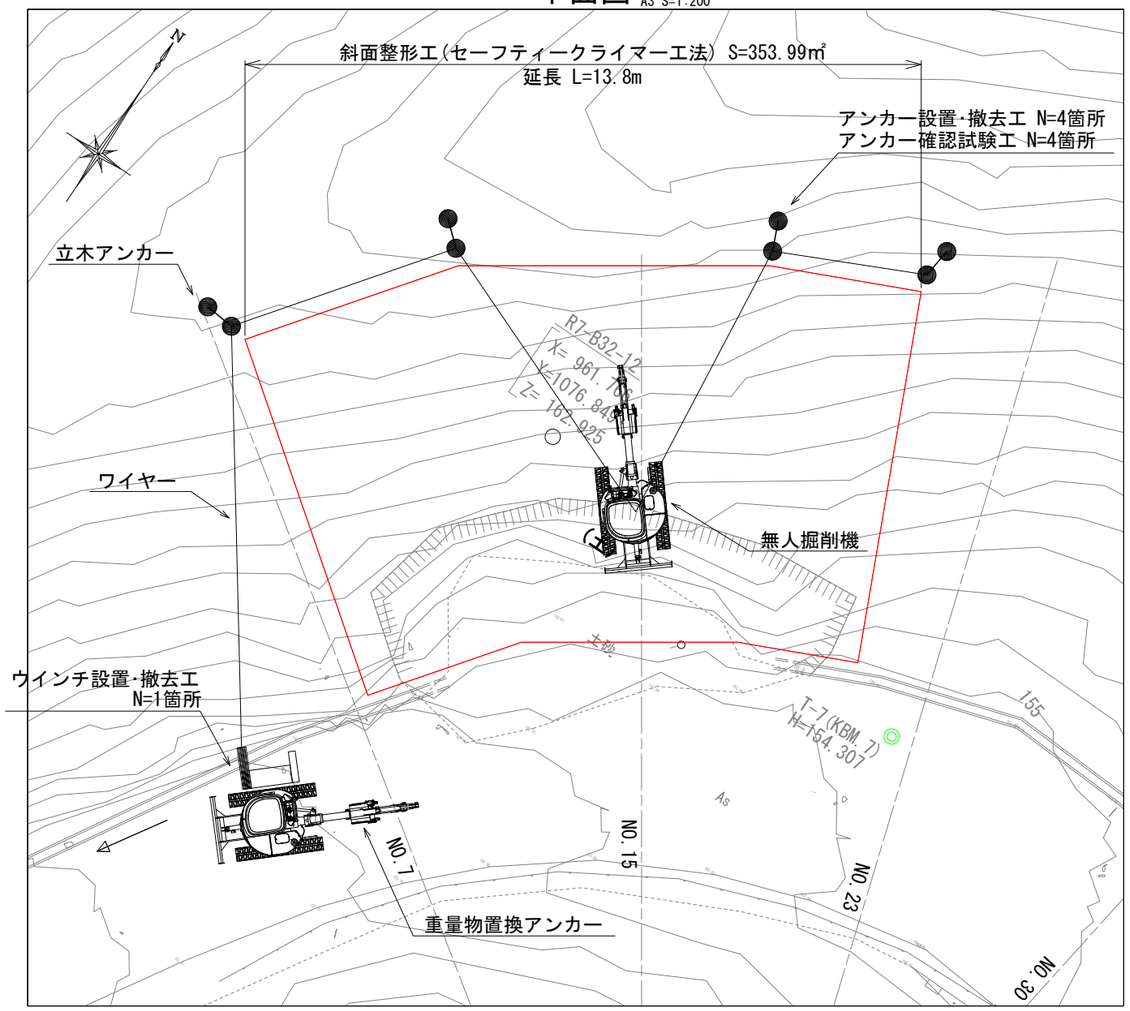
横断図 A1 S=1:75 A3 S=1:150



No.15 1mあたり

工種	種別	単位	数量
地山掘削	崩土除去	㎡	1.61

平面図 A1 S=1:100 A3 S=1:200



32-17工区　鉄筋挿入工+ワイヤーネット工

数 量 総 括 表

32-17工区

レベル１	レベル２(工種)	レベル３(種別)	レベル４(細別)	レベル５(規格)	単位	数量	設計数量	備考
斜面対策								
	準備工							
		土工						
			掘削工	土砂 小規模 小規模(標準)	m3	53.0	50	
		ｾｰﾌﾃｨｸﾗｲﾏｰ工法						
			ｱﾝｶｰ設置・撤去工	立木アンカー	箇所	4.0	4	
			ｱﾝｶｰ確認試験工		箇所	4.0	4	
			斜面整形工	土砂系	m2	553.4	550	
			ｳｨﾝﾁ設置・撤去工	重量物置換ｱﾝｶｰ	箇所	1.0	1	
		残土処理工						
			土砂等運搬	土砂	m3	53.0	50	
			残土等処分	土砂	m3	53.0	50	
	法面工							
		ワイヤーネット工						
			芯出し工		m2	553.4	553	
			金網設置工		m2	553.4	553	
			ケーブル設置工		m2	553.4	553	
			プレート設置工		個所	301	301	
			ピンアンカー設置工		本	14	14	
			材料費		式	1		
			ワイヤーネット	φ10 7×7 AZ/0	m	1006.9	1007	
			プレート	150×150×12	枚	301	301	
			高強度金網	φ2.6×50×50	m2	553.4	553	
			コイル	φ4×46～48×575	個	380	380	
			ミニコイル	φ4×46～48×575	個	1092	1092	
			オーバルスリーブ	φ10用	個	43	43	
			コイル(外周)	φ4×46～48×575	個	97	97	
			ピンアンカー	D13	本	14	14	
			Uボルト	M12	個	602	602	
			定着ナット	D19用	個	301	301	
		植生工						
			種子散布		m2	553.4	553	
		鉄筋挿入工						
			鉄筋挿入	D19,L=2.5m	本	65	65	
				D19,L=3.5m	本	21	21	
				D19,L=4.0m	本	21	21	
				D19,L=4.5m	本	64	64	
				D19,L=5.0m	本	130	130	
	準備費	処分費			m3	5	5	想定
		ダンプトラック運搬			t	4	4	想定

数量計算書(1)

種　　別：　準備工

細別／規格	算　　式	数　　量
掘削工 土砂	・土工図より V = 1.84 × 28.8 ＝	53.0 m3
残土処理工 土砂	・掘削工数量より V = 53.00	53.0 m3
ｱﾝｶｰ設置・撤去工 （ｾｰﾌﾃｨｰｸﾗｲﾏｰ工法） 立木アンカー	・土工図より N = 4.00	4.0 箇所
ｱﾝｶｰ確認試験工 （ｾｰﾌﾃｨｰｸﾗｲﾏｰ工法）	・土工図より N = 4.00	4.0 箇所
斜面整形工 （ｾｰﾌﾃｨｰｸﾗｲﾏｰ工法） 土砂系	・土工図より S = 553.44	553.4 m2
ｳｨﾝﾁ設置・撤去工 （ｾｰﾌﾃｨｰｸﾗｲﾏｰ工法） 重量物置換ｱﾝｶｰ	・土工図より N = 1.00	1.0 箇所

数量計算書(2)

種　　別：　法面工

細別／規格	算　　式	数　　量
ワイヤーネット工	・法面工　数量計算書より	
φ10 7×7 AZ/0	L ＝ 1006.90	1006.9 m
プレート	・法面工　数量計算書より	
150×150×12	N ＝ 301	301 枚
Uボルト	・法面工　数量計算書より	
M12	N ＝ 602	602 個
定着ナット	・法面工　数量計算書より	
D19用	N ＝ 301	301 個
高強度金網	・法面工　数量計算書より	
φ2.6×50×50	A ＝ 553.44	553.4 m2
コイル	・法面工　数量計算書より	
φ4×46～48×575	N ＝ 380	380 個
コイル(外周)	・法面工　数量計算書より	
φ4×46～48×575	N ＝ 97	97 個
ミニコイル	・法面工　数量計算書より	
φ6×50×67	N ＝ 1092	1092 個
オーバルスリーブ	・法面工　数量計算書より	
φ10用	N ＝ 43	43 個
ピンアンカー	・法面工　数量計算書より	
D13	N ＝ 14	14 本
植生工	・法面工　数量計算書より	
種子散布	A ＝ 553.44	553.4 m2
鉄筋挿入工	・鉄筋挿入工　数量計算書より	
D19,L=2.5m	N ＝ 22 ＋ 22 ＋ 21 ＝	65 本
D19,L=3.5m	N ＝ 21 ＝	21 本
D19,L=4.0m	N ＝ 21 ＝	21 本
D19,L=4.5m	N ＝ 21 ＋ 22 ＋ 21 ＝	64 本
D19,L=5.0m	N ＝ 22 ＋ 22 ＋ 21 ＋ 22 ＋ 21 ＋ 22 ＝	130 本
	ΣN ＝	301 本
削孔	・鉄筋挿入工　数量計算書より	
削孔径φ65	L ＝ 37.0 ＋ 35.3 ＋ 43.9 ＋ 6.1	
砂質土	＋ 2.2 ＋ 2.7 ＋ 17.2 ＋ 30.5	
	＋ 46.8 ＋ 58.8 ＋ 63.1 ＝	343.6 m
削孔径φ65	L ＝ 52.8 ＋ 15.8 ＋ 15.1 ＋ 27.5	
礫質土	＋ 81.9 ＋ 86.3 ＋ 94.6 ＋ 89.7	
	＋ 107.8 ＋ 90.6 ＋ 72.4 ＋ 61.0	
	＋ 44.1 ＋ 44.7 ＝	884.3 m
グラウト注入	・鉄筋挿入工　数量計算書より	
セメントミルク	V ＝ 0.24 ＋ 0.24 ＋ 0.23 ＋ 0.33	
σck=24N/mm2	＋ 0.38 ＋ 0.43 ＋ 0.45 ＋ 0.43	
	＋ 0.50 ＋ 0.50 ＋ 0.48 ＋ 0.50	
	＋ 0.48 ＋ 0.50 ＝	5.69 m3

ケーブル　延長計算表

X 1500×1500

縦延長								外周延長				摘要
設置	番号		延長	設置	番号		延長	設置	番号		延長	
縦	Y	1	20.3	縦	Y	39	21.9	外周	L	1	18.7	
	Y	2	20.3		Y	40	21.9		L	2	18.7	
	Y	3	21.9		Y	41	20.3		L	3	29.1	
	Y	4	21.9		Y	42	20.3		L	4	30.4	
	Y	5	21.9									
	Y	6	21.9									
	Y	7	21.9									
	Y	8	21.9									
	Y	9	21.9									
	Y	10	21.9									
	Y	11	21.9									
	Y	12	21.9									
	Y	13	21.9									
	Y	14	21.9									
	Y	15	21.9									
	Y	16	21.9									
	Y	17	21.9									
	Y	18	21.9									
	Y	19	21.9									
	Y	20	21.9									
	Y	21	21.9									
	Y	22	21.9									
	Y	23	21.9									
	Y	24	21.9									
	Y	25	21.9									
	Y	26	21.9									
	Y	27	21.9									
	Y	28	21.9									
	Y	29	21.9									
	Y	30	21.9									
	Y	31	21.9									
	Y	32	21.9									
	Y	33	21.9									
	Y	34	21.0									
	Y	35	20.8									
	Y	36	20.5									
	Y	37	21.9									
	Y	38	21.9									
縦延長小計			825.6	縦延長小計			84.4	外周小計			96.9	
合計							1006.9					

ミニコイル　個数計算表

縦個数												摘要
設置	番号		個数	設置	番号		個数					
縦	Y	1	26	縦	Y	38	26					
	Y	2	26		Y	39	26					
	Y	3	26		Y	40	26					
	Y	4	26		Y	41	26					
	Y	5	26		Y	42	26					
	Y	6	26									
	Y	7	26									
	Y	8	26									
	Y	9	26									
	Y	10	26									
	Y	11	26									
	Y	12	26									
	Y	13	26									
	Y	14	26									
	Y	15	26									
	Y	16	26									
	Y	17	26									
	Y	18	26									
	Y	19	26									
	Y	20	26									
	Y	21	26									
	Y	22	26									
	Y	23	26									
	Y	24	26									
	Y	25	26									
	Y	26	26									
	Y	27	26									
	Y	28	26									
	Y	29	26									
	Y	30	26									
	Y	31	26									
	Y	32	26									
	Y	33	26									
	Y	34	26									
	Y	35	26									
	Y	36	26									
	Y	37	26									
縦小計			962	縦小計			130	合計				1092

法面工 数量計算書

種別	規格	計算式等			単位	数量	摘要
ワイヤーネット工	φ10 7×7 AZ/0	ケーブル長(縦延長、外周)合計 1006.9			m	1,006.9	
プレート	150×150×12	鉄筋挿入本数			枚	301	
Uボルト	M12	プレート1枚/2個			個	602	
定着ナット	D19用	鉄筋挿入本数			個	301	
高強度金網	φ2.6×50×50	設置面積（図面より）			m2	553.44	
コイル	φ4×46～48×575（1個/m)	設置延長 18.642	設置個数 19	設置列数 20	個	380	
コイル(外周)	φ4×46～48×575（1個/m)	設置延長 96.9	設置個数 97		個	97	
ミニコイル	φ6×50×67	2個/一辺当り			個	1092	
オーバルスリーブ	φ10用(上下端部)	図面より			個	43	
ピンアンカー	D13(左右端部)	図面より			本	14	
植生工	種子散布	設置面積（図面より）			m2	553.44	

鉄筋挿入工 数量計算書

種　　別：鉄筋挿入工(L3)
細　　別：鉄筋挿入
規　　格：SD345、D19、L=2.5m/本

施工本数(SD345、D19、L=2.5m/本)

※　ワイヤーネット工展開図より　N=22本

補強材長	本数（本）	延長（m）
L= 2.5m/本	22	55.0

削孔(削孔径φ65mm)

※ クレーン使用

１本当り平均削孔土質 (m)		施工本数 (本)	削孔長計 (m)
砂質・粘性土			
礫質土	2.400	22	52.8

※　1本当りの削孔長 = 2.5（補強材長） − 0.1m（余長） = 2.4m

グラウト注入（セメントミルク σck=24N/mm^2）

補強材長	1本当りの削孔長 (m)	1本当りの注入量 (m^3)	本 数 (本)	注入量計 (m^3)
L= 2.5m/本	2.400	0.0111	22	0.24

※　注入量　V = 1/4 × π × 0.065^2（削孔径） × 2.4（削孔長） × (1＋0.4)（※割増率） = 0.0111 m3

※　上記の割増率は「令和7年国土交通省土木工事標準積算基準書」Ⅵ-2-⑭-5を参考として計上した。

補強材1本当りの材料

区　　分	名　　称	規　　格	単位	数量 L=2.5m	摘　　要
補　強　材	ネジ節異形棒鋼	D19(SD345) L=2.5m	m	2.5	亜鉛メッキ仕上 JIS-H-8641-2種 HDZ55
	スペーサー	D19用、L=127mm (SK85)	個	2	取付間隔@2.5m以下 1本当り2ヶ以上使用 電気ﾒｯｷ品
	ゴム製シース	φ42mm L=0.2m	個	1	

鉄筋挿入工 数量計算書

種　　別：鉄筋挿入工(X12)
細　　別：鉄筋挿入
規　　格：SD345、D19、L=2.5m/本

施工本数(SD345、D19、L=2.5m/本)

※　ワイヤーネット工展開図より　N=22本

補強材長	本数（本）	延長（m）
L= 2.5m/本	22	55.0

削孔(削孔径φ65mm)

※ クレーン使用

１本当り平均削孔土質 (m)		施工本数 (本)	削孔長計 (m)
砂質・粘性土	1.680	22	37.0
礫質土	0.720	22	15.8

※　1本当りの削孔長 = 2.5（補強材長） － 0.1m（余長） = 2.4m

グラウト注入（セメントミルク σck=24N/mm^2）

補強材長	1本当りの削孔長 (m)	1本当りの注入量 (m^3)	本 数 (本)	注入量計 (m^3)
L= 2.5m/本	2.400	0.0111	22	0.24

※　注入量　V = 1/4 × π × 0.065^2（削孔径） × 2.4（削孔長） × (1＋0.4)（※割増率） = 0.0111 m3

※　上記の割増率は「令和7年国土交通省土木工事標準積算基準書」Ⅵ-2-⑭-5を参考として計上した。

補強材1本当りの材料

区　　分	名　　称	規　　格	単位	数量 L=2.5m	摘　　要
補　強　材	ネジ節異形棒鋼	D19(SD345) L=2.5m	m	2.5	亜鉛メッキ仕上 JIS-H-8641-2種 HDZ55
	スペーサー	D19用、L=127mm (SK85)	個	2	取付間隔@2.5m以下 1本当り2ヶ以上使用 電気ﾒｯｷ品
	ゴム製シース	φ42mm L=0.2m	個	1	

鉄筋挿入工 数量計算書

種　　別：鉄筋挿入工(L4)
細　　別：鉄筋挿入
規　　格：SD345、D19、L=2.5m/本

施工本数(SD345、D19、L=2.5m/本)

※　ワイヤーネット工展開図より　N=21本

補強材長	本数（本）	延長（m）
L= 2.5m/本	21	52.5

削孔(削孔径φ65mm)

※ クレーン使用

1本当り平均削孔土質 (m)		施工本数 (本)	削孔長計 (m)
砂質・粘性土	1.680	21	35.3
礫質土	0.720	21	15.1

※　1本当りの削孔長 = 2.5（補強材長） － 0.1m（余長） = 2.4m

グラウト注入（セメントミルク σck=24N/mm^2）

補強材長	1本当りの削孔長 (m)	1本当りの注入量 (m^3)	本 数 (本)	注入量計 (m^3)
L= 2.5m/本	2.400	0.0111	21	0.23

※　注入量　$V = 1/4 \times \pi \times 0.065^2$（削孔径）$\times 2.4$（削孔長）$\times (1+0.4)$（※割増率）$= 0.0111$ m3

※　上記の割増率は「令和7年国土交通省土木工事標準積算基準書」Ⅵ-2-⑭-5を参考として計上した。

補強材1本当りの材料

区　分	名　称	規　格	単位	数量 L=2.5m	摘　要
補強材	ネジ節異形棒鋼	D19(SD345) L=2.5m	m	2.5	亜鉛メッキ仕上 JIS-H-8641-2種 HDZ55
	スペーサー	D19用、L=127mm (SK85)	個	2	取付間隔@2.5m以下 1本当り2ヶ以上使用 電気ﾒｯｷ品
	ゴム製シース	φ42mm L=0.2m	個	1	

鉄筋挿入工 数量計算書

種　　別：鉄筋挿入工(X11)
細　　別：鉄筋挿入
規　　格：SD345、D19、L=3.5m/本

施工本数(SD345、D19、L=3.5m/本)

※　ワイヤーネット工展開図より　N=21本

補強材長	本数（本）	延長（m）
L= 3.5m/本	21	73.5

削孔(削孔径φ65mm)

※ クレーン使用

1本当り平均削孔土質 (m)		施工本数 (本)	削孔長計 (m)
砂質・粘性土	2.090	21	43.9
礫質土	1.310	21	27.5

※　1本当りの削孔長 = 3.5（補強材長） −0.1m（余長） = 3.4m

グラウト注入（セメントミルク σck=24N/mm^2）

補強材長	1本当りの削孔長 (m)	1本当りの注入量 (m^3)	本 数 (本)	注入量計 (m^3)
L= 3.5m/本	3.400	0.0158	21	0.33

※　注入量　V = 1/4 × π × 0.065^2（削孔径） ×3.4（削孔長） × (1＋0.4)（※割増率） = 0.0158 m3

※　上記の割増率は「令和7年国土交通省土木工事標準積算基準書」Ⅵ-2-⑭-5を参考として計上した。

補強材1本当りの材料

区　分	名　称	規　格	単位	数量 L=3.5m	摘　要
補強材	ネジ節異形棒鋼	D19(SD345) L=3.5m	m	3.5	亜鉛メッキ仕上 JIS-H-8641-2種 HDZ55
	スペーサー	D19用、L=127mm (SK85)	個	3	取付間隔@2.5m以下 1本当り2ヶ以上使用 電気ﾒｯｷ品
	ゴム製シース	φ42mm L=0.2m	個	1	

鉄筋挿入工 数量計算書

種　　別：鉄筋挿入工(X1)
細　　別：鉄筋挿入
規　　格：SD345、D19、L=4.0m/本

施工本数(SD345、D19、L=4.0m/本)

※　ワイヤーネット工展開図より　N=21本

補強材長	本数（本）	延長（m）
L= 4.0m/本	21	84.0

削孔(削孔径φ65mm)

※ クレーン使用

１本当り平均削孔土質 (m)		施工本数 (本)	削孔長計 (m)
砂質・粘性土			
礫質土	3.900	21	81.9

※　1本当りの削孔長 = 4.0（補強材長） － 0.1m（余長） = 3.9m

グラウト注入（セメントミルク σck=24N/mm^2）

補強材長	1本当りの削孔長 (m)	1本当りの注入量 (m^3)	本 数 (本)	注入量計 (m^3)
L= 4.0m/本	3.900	0.0181	21	0.38

※　注入量　V = 1/4 × π × 0.065^2（削孔径） × 3.9（削孔長） × (1＋0.4)（※割増率） = 0.0181 m3

※　上記の割増率は「令和7年国土交通省土木工事標準積算基準書」Ⅵ-2-⑭-5を参考として計上した。

補強材1本当りの材料

区　　分	名　　称	規　　格	単位	数量 L=4.0m	摘　　要
補　強　材	ネジ節異形棒鋼	D19(SD345) L=4.0m	m	4.0	亜鉛メッキ仕上 JIS-H-8641-2種 HDZ55
	スペーサー	D19用、L=127mm (SK85)	個	3	取付間隔@2.5m以下 1本当り2ヶ以上使用 電気ﾒｯｷ品
	ゴム製シース	φ42mm L=0.2m	個	1	

鉄筋挿入工 数量計算書

種　　別：鉄筋挿入工(X3)
細　　別：鉄筋挿入
規　　格：SD345、D19、L=4.5m/本

施工本数(SD345、D19、L=4.5m/本)

※　ワイヤーネット工展開図より　N=21本

補強材長	本数（本）	延長（m）
L= 4.5m/本	21	94.5

削孔(削孔径φ65mm)

※ クレーン使用

1本当り平均削孔土質 (m)		施工本数 (本)	削孔長計 (m)
砂質・粘性土	0.289	21	6.1
礫質土	4.111	21	86.3

※　1本当りの削孔長 = 4.5（補強材長） − 0.1m（余長） = 4.4m

グラウト注入（セメントミルク σck=24N/mm^2）

補強材長	1本当りの削孔長 (m)	1本当りの注入量 (m^3)	本 数 (本)	注入量計 (m^3)
L= 4.5m/本	4.400	0.0204	21	0.43

※　注入量　V = 1/4 × π × 0.065^2（削孔径） × 4.4（削孔長） × (1＋0.4)（※割増率） = 0.0204 m3

※　上記の割増率は「令和7年国土交通省土木工事標準積算基準書」Ⅵ-2-⑭-5を参考として計上した。

補強材1本当りの材料

区　分	名　称	規　格	単位	数量 L=4.5m	摘　要
補 強 材	ネジ節異形棒鋼	D19(SD345) L=4.5m	m	4.5	亜鉛メッキ仕上 JIS-H-8641-2種 HDZ55
	スペーサー	D19用、L=127mm (SK85)	個	4	取付間隔@2.5m以下 1本当り2ヶ以上使用 電気ﾒｯｷ品
	ゴム製シース	φ42mm L=0.2m	個	1	

鉄筋挿入工 数量計算書

種　　別：鉄筋挿入工(X4)
細　　別：鉄筋挿入
規　　格：SD345、D19、L=4.5m/本

施工本数(SD345、D19、L=4.5m/本)

※　ワイヤーネット工展開図より　N=22本

補強材長	本数（本）	延長（m）
L= 4.5m/本	22	99.0

削孔(削孔径φ65mm)

※ クレーン使用

1本当り平均削孔土質 (m)		施工本数 (本)	削孔長計 (m)
砂質・粘性土	0.102	22	2.2
礫質土	4.298	22	94.6

※　1本当りの削孔長 = 4.5（補強材長） − 0.1m（余長） = 4.4m

グラウト注入（セメントミルク σck=24N/mm^2）

補強材長	1本当りの削孔長 (m)	1本当りの注入量 (m^3)	本 数 (本)	注入量計 (m^3)
L= 4.5m/本	4.400	0.0204	22	0.45

※　注入量　V = 1/4 × π × 0.065^2（削孔径） × 4.4（削孔長） × (1＋0.4)（※割増率） = 0.0204 m3

※　上記の割増率は「令和7年国土交通省土木工事標準積算基準書」Ⅵ-2-⑭-5を参考として計上した。

補強材1本当りの材料

区　分	名　称	規　格	単位	数量 L=4.5m	摘　要
補 強 材	ネジ節異形棒鋼	D19(SD345) L=4.5m	m	4.5	亜鉛メッキ仕上 JIS-H-8641-2種 HDZ55
	スペーサー	D19用、L=127mm (SK85)	個	4	取付間隔@2.5m以下 1本当り2ヶ以上使用 電気ﾒｯｷ品
	ゴム製シース	φ42mm L=0.2m	個	1	

鉄筋挿入工 数量計算書

種　　別：鉄筋挿入工(X5)
細　　別：鉄筋挿入
規　　格：SD345、D19、L=4.5m/本

施工本数(SD345、D19、L=4.5m/本)

※　ワイヤーネット工展開図より　N=21本

補強材長	本数（本）	延長（m）
L= 4.5m/本	21	94.5

削孔(削孔径φ65mm)

※ クレーン使用

1本当り平均削孔土質 (m)		施工本数 (本)	削孔長計 (m)
砂質・粘性土	0.128	21	2.7
礫質土	4.272	21	89.7

※　1本当りの削孔長 = 4.5（補強材長） − 0.1m（余長） = 4.4m

グラウト注入（セメントミルク σck=24N/mm^2）

補強材長	1本当りの削孔長 (m)	1本当りの注入量 (m^3)	本 数 (本)	注入量計 (m^3)
L= 4.5m/本	4.400	0.0204	21	0.43

※　注入量　V = 1/4 × π × 0.065^2（削孔径） × 4.4（削孔長） × (1＋0.4)（※割増率） = 0.0204m3

※　上記の割増率は「令和7年国土交通省土木工事標準積算基準書」Ⅵ-2-⑭-5を参考として計上した。

補強材1本当りの材料

区　分	名　称	規　格	単位	数量 L=4.5m	摘　要
補 強 材	ネジ節異形棒鋼	D19(SD345) L=4.5m	m	4.5	亜鉛メッキ仕上 JIS-H-8641-2種 HDZ55
	スペーサー	D19用、L=127mm (SK85)	個	4	取付間隔@2.5m以下 1本当り2ヶ以上使用 電気ﾒｯｷ品
	ゴム製シース	φ42mm L=0.2m	個	1	

鉄筋挿入工 数量計算書

種　　別：鉄筋挿入工(X2)
細　　別：鉄筋挿入
規　　格：SD345、D19、L=5.0m/本

施工本数(SD345、D19、L=5.0m/本)

※　ワイヤーネット工展開図より　N=22本

補強材長	本数（本）	延長（m）
L= 5.0m/本	22	110.0

削孔(削孔径φ65mm)

※ クレーン使用

１本当り平均削孔土質 (m)		施工本数 (本)	削孔長計 (m)
砂質・粘性土			
礫質土	4.900	22	107.8

※　1本当りの削孔長 = 5.0（補強材長） － 0.1m（余長） = 4.9m

グラウト注入（セメントミルク σck=24N/mm^2）

補強材長	1本当りの削孔長 (m)	1本当りの注入量 (m^3)	本 数 (本)	注入量計 (m^3)
L= 5.0m/本	4.900	0.0228	22	0.50

※　注入量　V = 1/4 × π × 0.065^2（削孔径） × 4.9（削孔長） × (1＋0.4)（※割増率） = 0.0228 m3

※　上記の割増率は「令和7年国土交通省土木工事標準積算基準書」Ⅵ-2-⑭-5を参考として計上した。

補強材1本当りの材料

区　分	名　称	規　格	単位	数量 L=5.0m	摘　要
補 強 材	ネジ節異形棒鋼	D19(SD345) L=5.0m	m	5.0	亜鉛メッキ仕上 JIS-H-8641-2種 HDZ55
	スペーサー	D19用、L=127mm (SK85)	個	4	取付間隔@2.5m以下 1本当り2ヶ以上使用 電気ﾒｯｷ品
	ゴム製シース	φ42mm L=0.2m	個	1	

鉄筋挿入工 数量計算書

種　　別：鉄筋挿入工(X6)
細　　別：鉄筋挿入
規　　格：SD345、D19、L=5.0m/本

施工本数(SD345、D19、L=5.0m/本)

※　ワイヤーネット工展開図より　N=22本

補強材長	本数（本）	延長（m）
L= 5.0m/本	22	110.0

削孔(削孔径φ65mm)

※ クレーン使用

１本当り平均削孔土質 (m)		施工本数 (本)	削孔長計 (m)
砂質・粘性土	0.780	22	17.2
礫質土	4.120	22	90.6

※　1本当りの削孔長 = 5.0（補強材長） － 0.1m（余長） = 4.9m

グラウト注入（セメントミルク σck=24N/mm^2）

補強材長	1本当りの削孔長 (m)	1本当りの注入量 (m^3)	本 数 (本)	注入量計 (m^3)
L= 5.0m/本	4.900	0.0228	22	0.50

※　注入量　$V = 1/4 \times \pi \times \underset{\text{削孔径}}{0.065^2} \times \underset{\text{削孔長}}{4.9} \times \underset{\text{※割増率}}{(1+0.4)} = 0.0228$ m3

※　上記の割増率は「令和7年国土交通省土木工事標準積算基準書」Ⅵ-2-⑭-5を参考として計上した。

補強材1本当りの材料

区　　分	名　　称	規　　格	単位	数量 L=5.0m	摘　　要
補　強　材	ネジ節異形棒鋼	D19(SD345) L=5.0m	m	5.0	亜鉛メッキ仕上 JIS-H-8641-2種 HDZ55
	スペーサー	D19用、L=127mm (SK85)	個	4	取付間隔@2.5m以下 1本当り2ヶ以上使用 電気ﾒｯｷ品
	ゴム製シース	φ42mm L=0.2m	個	1	

鉄筋挿入工 数量計算書

種　　別：鉄筋挿入工(X7)
細　　別：鉄筋挿入
規　　格：SD345、D19、L=5.0m/本

施工本数(SD345、D19、L=5.0m/本)

※　ワイヤーネット工展開図より　N=21本

補強材長	本数（本）	延長（m）
L= 5.0m/本	21	105.0

削孔(削孔径φ65mm)

※ クレーン使用

1本当り平均削孔土質 (m)		施工本数 (本)	削孔長計 (m)
砂質・粘性土	1.454	21	30.5
礫質土	3.446	21	72.4

※　1本当りの削孔長 = 5.0（補強材長） − 0.1m（余長） = 4.9m

グラウト注入（セメントミルク σck=24N/mm^2）

補強材長	1本当りの削孔長 (m)	1本当りの注入量 (m^3)	本 数 (本)	注入量計 (m^3)
L= 5.0m/本	4.900	0.0228	21	0.48

※　注入量　$V = 1/4 \times \pi \times \underset{\text{削孔径}}{0.065^2} \times \underset{\text{削孔長}}{4.9} \times \underset{\text{※割増率}}{(1+0.4)} = 0.0228$ m3

※　上記の割増率は「令和7年国土交通省土木工事標準積算基準書」Ⅵ-2-⑭-5を参考として計上した。

補強材1本当りの材料

区　分	名　称	規　格	単位	数量 L=5.0m	摘　要
補強材	ネジ節異形棒鋼	D19(SD345) L=5.0m	m	5.0	亜鉛メッキ仕上 JIS-H-8641-2種 HDZ55
	スペーサー	D19用、L=127mm (SK85)	個	4	取付間隔@2.5m以下 1本当り2ヶ以上使用 電気ﾒｯｷ品
	ゴム製シース	φ42mm L=0.2m	個	1	

鉄筋挿入工 数量計算書

種　　別：鉄筋挿入工(X8)
細　　別：鉄筋挿入
規　　格：SD345、D19、L=5.0m/本

施工本数(SD345、D19、L=5.0m/本)

※　ワイヤーネット工展開図より　N=22本

補強材長	本数（本）	延長（m）
L= 5.0m/本	22	110.0

削孔(削孔径φ65mm)

※ クレーン使用

１本当り平均削孔土質 (m)		施工本数 (本)	削孔長計 (m)
砂質・粘性土	2.128	22	46.8
礫質土	2.772	22	61.0

※　1本当りの削孔長 = 5.0（補強材長） － 0.1m（余長） = 4.9m

グラウト注入（セメントミルク σck=24N/mm^2）

補強材長	1本当りの削孔長 (m)	1本当りの注入量 (m^3)	本 数 (本)	注入量計 (m^3)
L= 5.0m/本	4.900	0.0228	22	0.50

※　注入量　$V = 1/4 \times \pi \times \underset{\text{削孔径}}{0.065^2} \times \underset{\text{削孔長}}{4.9} \times \underset{\text{※割増率}}{(1+0.4)} = 0.0228$ m3

※　上記の割増率は「令和7年国土交通省土木工事標準積算基準書」Ⅵ-2-⑭-5を参考として計上した。

補強材1本当りの材料

区　　分	名　　称	規　　格	単位	数量 L=5.0m	摘　　要
補　強　材	ネジ節異形棒鋼	D19(SD345) L=5.0m	m	5.0	亜鉛メッキ仕上 JIS-H-8641-2種 HDZ55
	スペーサー	D19用、L=127mm (SK85)	個	4	取付間隔@2.5m以下 1本当り2ヶ以上使用 電気ﾒｯｷ品
	ゴム製シース	φ42mm L=0.2m	個	1	

鉄筋挿入工 数量計算書

種　　別：鉄筋挿入工(X9)
細　　別：鉄筋挿入
規　　格：SD345、D19、L=5.0m/本

施工本数(SD345、D19、L=5.0m/本)

※　ワイヤーネット工展開図より　N=21本

補強材長	本数（本）	延長（m）
L= 5.0m/本	21	105.0

削孔(削孔径φ65mm)

※ クレーン使用

1本当り平均削孔土質 (m)		施工本数 (本)	削孔長計 (m)
砂質・粘性土	2.802	21	58.8
礫質土	2.098	21	44.1

※　1本当りの削孔長 = 5.0（補強材長） － 0.1m（余長） = 4.9m

グラウト注入（セメントミルク σck=24N/mm^2）

補強材長	1本当りの削孔長 (m)	1本当りの注入量 (m^3)	本 数 (本)	注入量計 (m^3)
L= 5.0m/本	4.900	0.0228	21	0.48

※　注入量　V = 1/4 × π × 0.065^2（削孔径） × 4.9（削孔長） × (1＋0.4)（※割増率） = 0.0228 m3

※　上記の割増率は「令和7年国土交通省土木工事標準積算基準書」Ⅵ-2-⑭-5を参考として計上した。

補強材1本当りの材料

区　分	名　称	規　格	単位	数量 L=5.0m	摘　要
補 強 材	ネジ節異形棒鋼	D19(SD345) L=5.0m	m	5.0	亜鉛メッキ仕上 JIS-H-8641-2種 HDZ55
	スペーサー	D19用、L=127mm (SK85)	個	4	取付間隔@2.5m以下 1本当り2ヶ以上使用 電気ﾒｯｷ品
	ゴム製シース	φ42mm L=0.2m	個	1	

鉄筋挿入工 数量計算書

種　　別：鉄筋挿入工(X10)
細　　別：鉄筋挿入
規　　格：SD345、D19、L=5.0m/本

施工本数(SD345、D19、L=5.0m/本)

※　ワイヤーネット工展開図より　N=22本

補強材長	本数（本）	延長（m）
L= 5.0m/本	22	110.0

削孔(削孔径φ65mm)

※ クレーン使用

１本当り平均削孔土質 (m)		施工本数 (本)	削孔長計 (m)
砂質・粘性土	2.870	22	63.1
礫質土	2.030	22	44.7

※　1本当りの削孔長 = 5.0（補強材長） － 0.1m（余長） = 4.9m

グラウト注入（セメントミルク σck=24N/mm^2）

補強材長	1本当りの削孔長 (m)	1本当りの注入量 (m^3)	本 数 (本)	注入量計 (m^3)
L= 5.0m/本	4.900	0.0228	22	0.50

※　注入量　V = 1/4 × π × 0.065^2（削孔径） × 4.9（削孔長） × (1＋0.4)（※割増率） = 0.0228 m3

※　上記の割増率は「令和7年国土交通省土木工事標準積算基準書」Ⅵ-2-⑭-5を参考として計上した。

補強材1本当りの材料

区　分	名　称	規　格	単位	数量 L=5.0m	摘　要
補 強 材	ネジ節異形棒鋼	D19(SD345) L=5.0m	m	5.0	亜鉛メッキ仕上 JIS-H-8641-2種 HDZ55
	スペーサー	D19用、L=127mm (SK85)	個	4	取付間隔@2.5m以下 1本当り2ヶ以上使用 電気ﾒｯｷ品
	ゴム製シース	φ42mm L=0.2m	個	1	

土工図(参考)

32-17工区

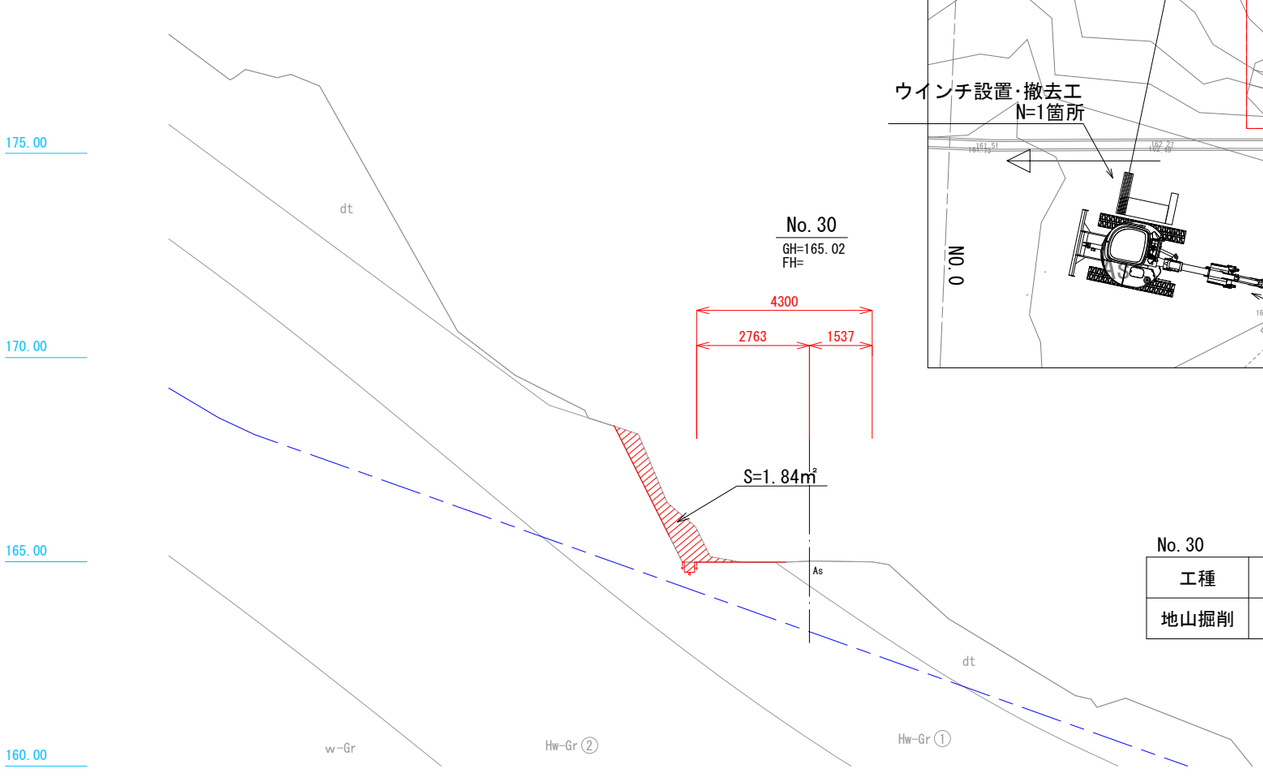
A1 S=1:100
A3 S=1:200

設計用地盤定数

地質区分名	地層記号	岩級区分	代表N値	単位体積重量 γ (kN/m3)	粘着力 C (kN/m2)	せん断抵抗角 φ(°)
真砂土	dt	-	1	17.33	8.61	25.00
強風化花崗岩	Hw-Gr①	DL～DM	26	20.59	4.22	35.00
強風化花崗岩	Hw-Gr②	DL～DM	35	20.97	48.61	37.17
風化花崗岩	w-Gr	DM～DH～CL	103	22.92	69.19	39.57

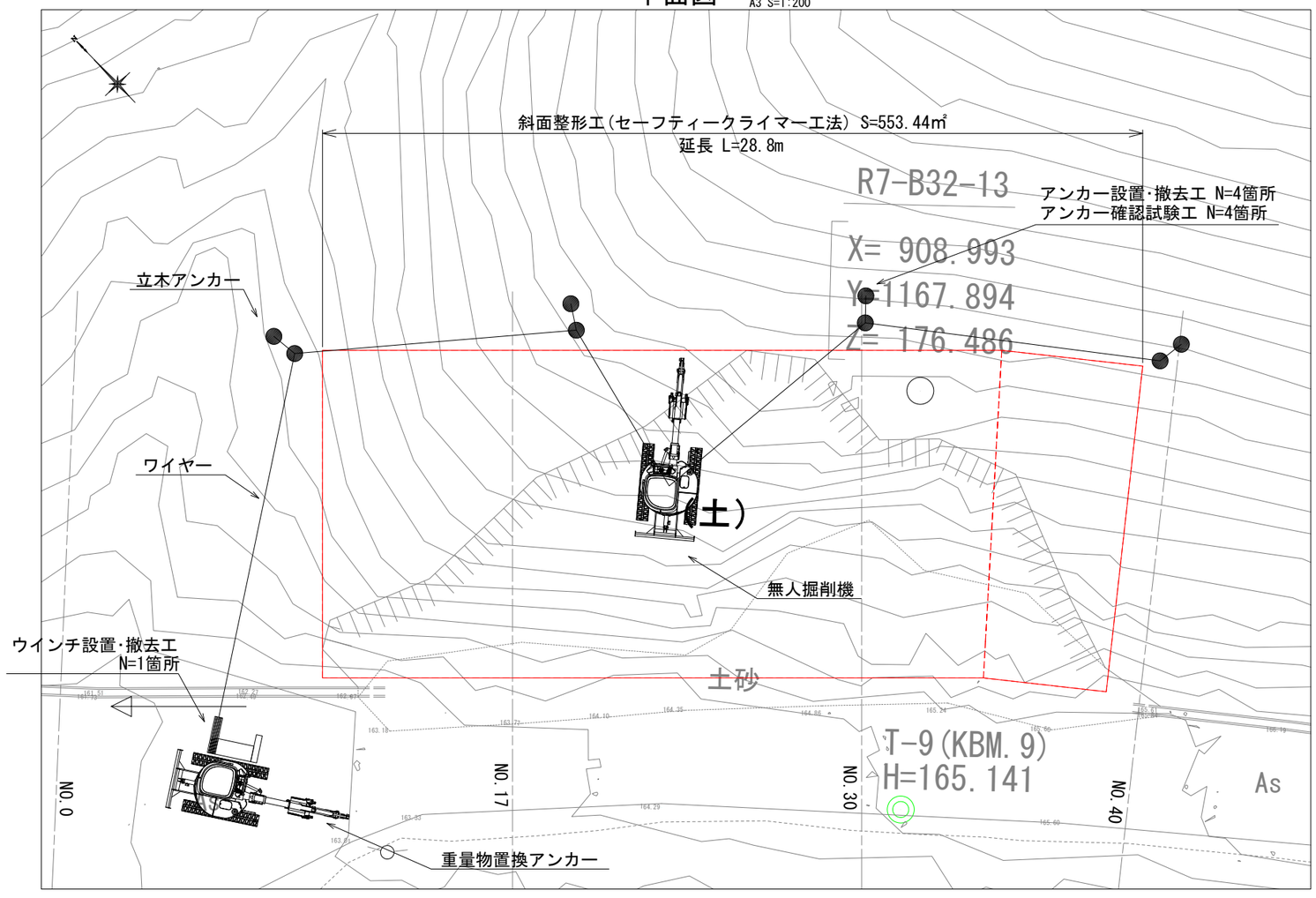
横断図

A1 S=1:75
A3 S=1:150



平面図

A1 S=1:100
A3 S=1:200



No. 30　　1mあたり

工種	種別	単位	数量
地山掘削	崩土除去	㎥	1.84